

# 根来山げんきの森だより 146号

根来山げんきの森倶楽部  
<http://genkinomori.jp/>

## げんきの森 1月・2月のお知らせ

### ○2/5 (日) 七草かゆとお餅つき

沢山申込みをいただきありがとうございます。定員になりましたので受付は終了しました。

日時：2月5日 (日) 9:30~13:00

日程：9:30 受付開始

- 10:00 春の七草観察と七草かゆ・お餅つき  
よもぎ餅・ゴギョウ餅・ピーナッツ餅など  
いろいろなお餅を皆で搗きましょう。
- 12:00 七草かゆと搗いたお餅をみんなで分けて  
食べましょう。

### ○大谷川の橋の架け替え工事 (1/23~1/25)

大谷新池から根来寺の駐車場へ向かう道の橋の解体・新築工事をする予定です。工事の期間中この道が通れなくなる可能性があります。工事予定が遅れておりおります。工事お知らせの看板に注意して下さい。

### ○2月から昆虫調査隊に指導者がつきます

昆虫調査隊は毎月第2日曜日、子ども達を中心に活動しています。今年は指導者をお願いすることになりました。昆虫好きの子ども達、これを機会に参加しませんか。

### ○「植物観察クイズ」 をはじめます

これまで「この草・木なあに」の問題を園内の草・木に掛けていましたが、「植物観察クイズ」に変更しました。今月はヤマモモです。この裏面にもクイズと答を掲載しています。



### ○~1/31げんき砦撤去工事

1/31までの予定で「げんき砦」の撤去工事を行っています。手作りの森頂上付近は通行止めになっています。

## 根来山の草木 ナンテン (メギ科)

正月飾りにその赤い実が使われるナンテンですが、中国原産で古い時代に日本に持ち込まれたようです。中国名「南天燭」から名が付き「難を転ずる」の語呂合わせから縁起物とされ、お正月に飾られるようになりました。

細長い軸の先に葉が集まり、あまり大きく茂らず手間いらずの庭木として重宝されています。

葉はおせち料理などの飾りに使われますが、これは縁起物という理由に加えて、微量に含まれる猛毒のシアン化水素が持つ殺菌作用を期待しているものかもしれません。赤い実は咳止めの効果のある成分を含んでいるのでど飴に使われますが、これは多量に摂取すると危険な成分なので素人が扱うと危険です。



ちなみに、2016年にナンテンに含まれるヒゲナミンがドーピングの禁止薬物に指定されたので、ドーピング対象の競技者は一部のど飴も食べちゃダメなのかと議論になりましたが、ど飴にはヒゲナミンは入っていないようです。

有毒成分を持つナンテンですが、野鳥は実の周りの赤い皮だけを消化して、有毒な種は排泄するのでエサとして利用できます。そのため、ナンテンは暖かい西日本では野鳥によって野生化してあちこちで見られます。

げんきの森でも大谷川沿いでは多く自生しており、今頃は真っ赤な実がきれいです。

今年は冬鳥の訪れが少ないげんきの森ですが、野鳥たちに食べられてしまわないうちに真っ赤なナンテンの実をお楽しみください。





## 根来山げんきの森 1月～2月の催し

**昆虫調査隊員募集中**：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

**倶楽部員募集中**：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

**写真 (A4) 募集中**：根来山げんきの森で撮った写真を募集しています。

### ふれあいの森プレーパーク

--1月～2月はお休みです--

次回は来年の3月5日(日曜)です。春にお会いしましょう。



1月観察会より

### 2/4(土) 自然観察会

寒い冬でも植物たちは静かに活動を続けています。そんな冬の里山を倶楽部員と観て歩きましょう。

日時：2月4日(土) 13:00～15:00

参加費：200円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へお申し込み下さい。



6月中旬のヤマモモ(雌株)

### 根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 1月13日(金) 10:00～こじか園(クラフト)
- 15日(日) 9:30～定例活動
- 16日(月)～20日(金) 緑花センター休園
- 18日(水) 9:00～里地調査(植物)
- 21日(土) 9:30～近大貸山
- 22日(日) 13:00～ネイチャーゲーム
- 26日(木) 12:00～恵み体験(鳴滝小)
- 27日(金) 12:00～恵み体験(上名手小)
- 28日(土) 10:00～竹細工同好会
- 2月4日(土) 9:00～餅つき準備
- 13:00～自然観察会
- 16:00～運営会(緑花センターにて)
- 5日(日) 9:00～七草餅つき
- 12日(日) 10:00～昆虫調査隊・きのくに子どもNPO(森林整備)
- 19日(日) 9:30～定例活動
- 25日(土) 10:00～竹細工同好会

それぞれの活動のお問い合わせは事務局または管理棟(Tel&FAX0736-61-7233)まで。火曜定休日  
事務局 E-mail : forest-o@ares.eonet.ne.jp

#### 【植物観察クイズ】

##### ヤマモモ(ヤマモモ科)

- ①葉のつき方は、つぎのどれでしょう。  
A 輪生 B 対生 C 互生
- ②葉の縁はどうなっているでしょう。  
ギザギザ(鋸歯)はありますか。
- ③葉の幅のいちばん広いところはつぎのどれでしょう。  
A 基部の方 B 真ん中 C 先の方
- ④6月ごろに甘い実がつきますが、実ができる木と、できない木があります。どうしてでしょう。

##### 【答え】

- ① C 互生 互生ですが、枝先に固まってつくだ、輪生のような感じがします。
- ② ギザギザ(鋸歯)のない葉(「全縁」といいます)ですが、低い鋸歯がまばらに出ることもあります。また、幼木や「ひこばえ」には、はっきりとした鋸歯が出る場合もあります。
- ③ 細長い葉ですが、葉先に近い部分でいちばん幅が広がります。
- ④ 雌雄異株なので、雌株の木にしか実はありません。街路樹として植えられるのは、実が落ちることが嫌われて雄株が植えられることが多いようです。